

平成10年度(第50年度)青森県漁連通常総会開催

平成10年度収支決算、平成11年度事業計画等承認、植村会長再選

去る、六月十五日(火)午後一時から、青森県水産ビル七階大会議室において、平成10年度(第50年度)通常総会が開催され、議事に先立ち、植村正治県漁連会長の挨拶があり、続いて来賓の木村守男青森県知事より祝辞のあと、家政政市下風呂漁協組合長を議長に選出し、議事に入り、平成10年度収支決算を始めとする8議案が上程され、原案通り承認可決されました。



挨拶を述べる植村会長

植村会長総会挨拶

平成10年度を顧みますと、大変厳しい年でありました。スルメイカ漁が約六十%の減となり、その漁家減収に思いを馳せたとき、胸に迫るものがあります。また、むつ湾内のホタテ加工業者が出荷ホタテ加工製品から腸炎ピロリ菌検出、八戸市の水産加工工場が出荷したイカ製品からサルモネラ菌検出等水産業界における衛生管理の重要性が認識されました。

また、大畑町のイカ加工業者及びむつ湾内のホタテ加工業者の大型倒産は水産業界のショックな事件でした。そして、深浦町大戸瀬漁協管内で外国船の座礁事故が発生し、県、町、漁協、保安部、県漁連が一体となり、船主に対し油抜き取り作業を進めさせ油流出もなく船体撤去が出来ましたことは、良かったと思っております。

国際問題では、四十年余の懸案であった日韓漁業問題について総力を結集し、新協定の恥部である大和堆を含む暫定水域設定への強力な反対運動に参加し、一定の成果を収めたこと、スルメイカが新たにTAC制度に導入され、実施段階に入った年でもありました。

明るいニュースとしては、本会創立五十周年大



総会風景

会が盛会裡に挙行、そして、ひらめ放流事業の成果により水揚げが三年連続で日本一を達成致しました。また平内町漁業協同組合のホタテ生産量が単協として日本一と嬉しい限りであり、流石に青森県の海は豊かだと思っております。

今、青森県の漁港は百港を超えており建設省、運輸省所管を加え、全国トップクラスであります。沿整事業も二十四億円余、全国の1/8であり、日本一の予算額であります。ヤリイカの魚礁を目玉として日本海、津軽海峡、太平洋、むつ湾と設置されて長期にわたって成果が期待出来ます。また、むつ湾のホタテ養殖共済全面加入も日本一であり、これは、木村県政の沿岸漁業者の所得の安定を考



挨拶を述べる木村青森県知事

えた全国一の補助金助成であります。
二十一世紀こそ資源管理の時代であり、その最重要課題は、資源枯渇型漁業との調整であり、トロール等の減船が最大の効果をあげることであります。この度、青森県日本海の漁業者の長年の願望でありますトロール減船が行われますが、船主と地元の協力なくしては出来ません。特に、木村県政が国と同額の補償額を負担する決断をされました。

これも日本では青森県知事が初めてであります。このように、県及び市町村行政が浜と一体となった時、無限の力を発揮出来るのが海であります。その力を受け入れる体制づくり、組織づくりが我々の責任であるのではないのでしょうか。今度は、我々漁協の役員と組合員が組織強化のため決断をしなければと思います。二十一世紀、そして次世代の若者と青森県の漁業の再構築のために。



議長を努める家政下風呂漁協組合長

千ではありますが出資配当することが出来ました。
新年度の事業としては、二十一世紀を迎える足固めをより一層強化するためにも、全国運動としての漁業基本法制定を浜の声として立ち上げると共に、持続可能な漁業漁村の中核たる本会と致しましては、会員漁協の合併及び再建整備漁協等の利子補給財源の確保のために、非常勤役員の報酬5%の削減と退任手当金三十%カットを始め、活力ある組織とするための対策を講じております。経営の健全化の中で、青森県の主要産業である漁業を足腰の強いものとし、地方分権の時代に対応する「二十一世紀は漁村の時代」とするため、努力することを申し添え、私のご挨拶とさせていただきます。

平成17年度重点推進事項

- 1、漁協経営基盤強化対策推進
- 2、漁業生産基盤強化、増殖殖事業等の推進
- 3、ほたて、いか、さけ、ひらめ、その他漁業の安定的再生産の諸対策
- 4、水産物付加価値向上、加工新製品開発への取り組み
- 5、漁業経営の安定的発展の諸活動
- 6、水産物、水産製品の消費拡大の諸対策
- 7、漁業用石油類、資材の安定供給
- 8、漁業環境保全対策
- 9、その他の諸活動

役員の選任については、次のとおり承認されました。

代表理事	植村 正治(平内町漁協組合長)
副会長理事	西崎 義三(舳作漁協組合長)
専務理事	後藤 亮丞(員外理事)
常務理事	新保 宜嘉(員外理事)
常務理事	藤田 匡(員外理事)
理事	新田 常雄(佐井村漁協組合長)
理事	高橋長次郎(はちのへ漁協組合長)
理事	木村 亀治(むつ市漁協組合長)
理事	手間本政信(石持漁協組合長)
理事	柳谷 一(三厩村漁協組合長)
代表監事	立石 政男(脇野沢村漁協組合長)
監事	角田 順一(下前漁協組合長)
監事	赤石 憲二(泊漁協組合長)